

## 熱い思いは現役生徒にも負けない!

### ●第11回地域職域同窓会責任者会議を終えて!

今日9日(土)は浦高同窓会「麗和会館」にて11時から17時まで缶詰でした。11時から**常任理事会**、食事を挟んで13時半からは**地域職域同窓会責任者会議**、16時から17時が**懇親会**でした。

### ■常任理事会 [出席24名]

常任理事会では、5月の同窓会全体総会に議案提出する予定の「**同窓会の法人化**」が議論されました。木村恵司会長(17回)が目指される同窓会の活性化策の一つが同窓会の法人化であり、もう一つが会員間の人材ネットワークの構築です。同窓会活性化委員会で2年近く議論してきたことがいよいよ実現に向けて動き始めます。まだまだ議論を重ねなければならない点も多いのですが一歩前に出ました。

### ■地域職域同窓会責任者会議 [出席58名]

第11回地域職域同窓会責任者会議には23の地域職域から会長・副会長・事務局長などが参加し、同窓会正副会長と常任理事で交流を深めました。

最初に木村会長から「政治情勢や大きなニュースを見ていると一つの官庁だけでは対処できないような問題が多くなっているような気がします。児童虐待の問題では厚生労働省、文部科学省、警察庁などさまざまな省庁・法律の隙間に問題があるような気がします。そうした中で大切なことは連携ではないでしょうか。また本日は埼玉県人会の評議員の荻野様にも来賓として参加いただき、埼玉県人会との連携という話もごさいます。小島校長からは最近の浦高について詳細なお話を伺いたいと思いますが、ますます学校と同窓会との連携も必要となっています。これまで進めてきた奨学財団や浦高百年の森、さらに同窓会の法人化や人材ネットワークなど新たなテーマも常任理事会で議論しておりますので皆様のご協力をお願いいたします」

続いて埼玉県人会評議員の荻野洋様(16回)から

「埼玉県人会は、大正2年に渋沢栄一翁をはじめ愛郷心に燃えた有力な県人諸氏の主唱『埼玉県人の知徳を進め人格を高めて、社会文化の向上発展に寄与することを目的』で設立されました。平成25年には100周年を迎え、今年で106年目を向かえます。昨年6月に浦高OBの岡本固衛氏が会長となり、ますます皆様のご支援が必要です。ぜひ多くの皆様にご入会いただくようお願いいたします」

浦高OBの小島克也校長(30回)からのご講演です。

### ■講演「最近の浦高」

平成30年度、第30代校長として着任しました小島です。本日は同窓会の皆様に「最近の浦高」についてお話をさせていただきます。分かり易いのが学校説明会資料ですのでそれに基づいてお話しします。



### ◆浦高の教育が目指すもの

#### 一浦高の理念一

浦高の理念を「尚文昌武(しょうぶんしょうぶ)」「世界のどこかを支える人

材を育てる」「少なくとも三兎を追え」「無理難題に挑戦」というような言葉で表しますが、これは大学受験を最終目的とせず10年後20年後を見据えた長期的な視野で生徒の成長を図ろうということです。そして、大切なのは教職員も生徒たちも、こうした理念を言語化し、文章化して生徒たちにすり込んでいることです。また、守破離の3年間でもあります。1年生は勉強の仕方を体得し、学校生活のあり方、部活動も会得する「守」。2年生では、体得した型の上で自分の可能性を追求する「破」。3年生では教職員から自立して大人としての自覚を持って歩んでいく「離」を身に付けさせています。

### ◆浦高独自の単位制カリキュラム

教職員もしっかりと生徒たちをサポートしています。浦高独自の単位制カリキュラムもそうですし、小テストなどによる学習習慣の確立、早朝・放課後の学習推奨、長期休業中の進学補周、偏りのない学習など生徒の自主性と協調性を養いながら、教職員がしっかりとサポートしています。

### ◆多様な学習環境の提供

イギリスのウィットギフト校との姉妹校提携、豊富な海外経験プログラム、教科の枠を超えた学問探究、キャリアプランニング・麗和セミナーなども同窓会の皆様のご支援をいただきながら進めています。

### ◆浦高の進路指導、年間行事、部活動

進路講演会や医師体験プログラム、徹底した個人面談などの進路指導。5月の新入生歓迎マラソン、7月の臨海学校、9月の浦高祭、11月の強歩大会などを通じて男の子から男へと変わっていく年間行事。さまざまな部活が全国大会を目指す実力と全人教育を目指す浦高ならではのものです。浦高では受験テクニックを教えるのではなく、これからも心身の鍛錬を積む教育を続けて参りますので、ご支援をお願いいたします。〔要点筆記です〕



### ■23の地域職域からの発表

講演に続いて3分間スピーチで23の地域職域同窓会から活動の様子が報告されました。皆様の元気をいただき、今年も「浦高さん」です。

